

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{b_n}{a_n} = 0 \quad (\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = \infty, \lim_{n \rightarrow \infty} b_n = \infty)$$

## のまとめ

おおさわ けんいち  
大沢 健一

### 1. はじめに

数列の極限を考える場合に扱う基本的な問題の中に

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{4n^2 + 3n}{3n^2 + 1} \text{ のような } \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{b_n}{a_n}$$

の形のもので0以外の定数に収束するものがよく扱われるが、それは

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{2n}{3n^2 + 4n} \text{ など } \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{b_n}{a_n} = 0$$

となる場合をよく理解した上に成り立っている。

また

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{\log n}{n} \text{ や } \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{2^n}{n!}$$

など、すぐには0に収束の結論が出にくいものもある。

今回は、

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{b_n}{a_n} = 0 \quad (\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = \infty, \lim_{n \rightarrow \infty} b_n = \infty)$$

となる実例をまとめてみることにした。

### 2. 定義

数列  $\{a_n\}$ ,  $\{b_n\}$  に対して

$$\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = \infty, \lim_{n \rightarrow \infty} b_n = \infty \text{ で } \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{b_n}{a_n} = 0$$

となるとき “ $a_n \gg b_n$ ” または “ $b_n \ll a_n$ ” と書くこと定義する。

### 3. この定義より分かること

1°.  $a_n \gg b_n, b_n \gg c_n$  ならば

$$a_n \gg c_n \text{ が成り立つ。}$$

2°.  $a_n \gg b_n$  ならば、ある番号  $N$  が存在し、

$$n \geq N \text{ である } n \text{ について } a_n > b_n$$

3°.  $a_n \gg b_n$  ならば、 $a_n^2 \gg b_n^2$  が成り立ち、更に  $a_n^a \gg b_n^a$  が成り立つ。

(ただし  $a > 0$ )

$$[\text{証明}] 1^\circ \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{c_n}{a_n} = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{b_n}{a_n} \cdot \frac{c_n}{b_n} = 0$$

〔証明〕2°  $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = \infty, \lim_{n \rightarrow \infty} b_n = \infty$  より、ある番号  $N_0$  が存在し  $n \geq N_0$  で  $a_n > 0$  でありかつ  $b_n > 0$  である。

また  $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{b_n}{a_n} = 0$  より  $N \geq N_0$  なる  $N$  が存在し

$$n \geq N \text{ で } \frac{b_n}{a_n} < 1$$

$$a_n > 0 \text{ より } b_n < a_n$$

〔証明〕3°  $a > 0$  より

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{b_n^a}{a_n^a} = \lim_{n \rightarrow \infty} \left( \frac{b_n}{a_n} \right)^a = 0$$

### 4. 基本的な実例

1°. 1より大きな整数  $k, l$  に対し  $a_n, b_n$  をそれぞれ  $k$  次,  $l$  次の  $n$  の整式とし、 $k > l$  ならば

$$a_n \gg b_n$$

2°. 1より大きな整数  $k, l, m$  に対し

$$a_n = \sqrt[k]{A_n}, b_n = \sqrt[l]{B_n} \text{ とし、} k > l \text{ (} A_n, B_n \text{ は } m \text{ 次} \text{ の } n \text{ の整式) ならば } a_n \ll b_n$$

(証明略)

### 5. よく扱う重要な実例

$$\begin{array}{cccccc} \textcircled{1} & \textcircled{2} & \textcircled{3} & \textcircled{4} & \textcircled{5} & \\ \log n & \ll & \sqrt[n]{n} & \ll & n & \ll & n^\beta & \ll & a^n & \ll & n! \end{array}$$

( $a, \beta$  は1より大きな整数)

※ 証明の都合上、“ $\ll$ ”の左側より①～⑤とする。

〔証明〕 ②と③については、前述の基本的な実例にもある。証明略。

〔証明〕 ④

(1)  $a^n \gg n$  ( $a > 1$ )を証明する。

$a > 1$  より  $a = 1 + H$  ( $H > 0$ )とおくと

$$(1+H)^n = {}_n C_0 + {}_n C_1 \cdot H + {}_n C_2 \cdot H^2 + \dots > {}_n C_2 \cdot H^2 = \frac{n(n-1)}{2} \cdot H^2$$

ゆえに  $\frac{1}{(1+H)^n} < \frac{2}{n(n-1) \cdot H^2}$

ゆえに  $\frac{n}{(1+H)^n} < \frac{2}{(n-1) \cdot H^2}$  から

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{n}{a^n} = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{n}{(1+H)^n} = 0$$

よって  $a^n \gg n$

(2) (1)の  $a$  について、 $a > 1$  から  $a = a^{\frac{1}{\beta}}$

( $a > 1, \beta > 1$  で  $a, \beta$  は整数)

とおけば、(1)から

$$(a^{\frac{1}{\beta}})^n \gg n \quad a > 1, \beta > 1 \text{ から}$$

$$(a^n)^{\frac{1}{\beta}} \gg n \quad 3 \text{ の } 3^\circ \text{ から } \{(a^n)^{\frac{1}{\beta}}\}^\beta \gg n^\beta$$

よって  $a^n \gg n^\beta$

〔証明〕 ⑤

(1)  $2^n \ll n!$  について、十分大きな  $n$  をとると

$$\begin{aligned} \frac{2^n}{n!} &= \frac{2 \cdot 2 \cdots 2 \cdot 2 \cdot 2 \cdot 2}{n(n-1) \cdots 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1} \\ &< \frac{2 \cdot 2 \cdots 2 \cdot 2 \cdot 2 \cdot 2}{n(n-1) \cdots 4 \cdot 3} \\ &= \frac{2 \cdot 2 \cdots 2 \cdots 2 \cdots 2 \cdots 2 \cdot 2 \cdot 2}{n(n-1) \cdots 3^3 \cdots 3^2 \cdots 4 \cdot 3} \\ &= \frac{2 \cdot 2 \cdots 2 \cdots 2 \cdots 2 \cdot 2 \cdot 2 \cdot 2}{n(n-1) \cdots 3^2 \cdots 3 \cdots 4 \cdot 3 \cdot 3} < \frac{2^n}{3^n} \end{aligned}$$

ゆえに  $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{2^n}{n!} = 0$  したがって  $2^n \ll n!$

(2) 同様に  $a^n \ll n!$  の証明についても十分大きな  $n$  について  $n! = n(n-1) \cdots 3 \cdot 2 \cdot 1$  の各自然数の因数の中には、

$$(a+1), (a+1)^2, \dots, (a+1)^m$$

(ただし  $m$  は  $a$  によって決まる自然数)が存在して次の不等式を満足する。

$$\frac{a^n}{n!} < \frac{a^n}{(a+1)^n}$$

よって  $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{a^n}{n!} = 0$  したがって  $a^n \ll n!$

〔証明〕 ①

(1)  $\sqrt[n]{n} \gg \log n$  について

$$f(x) = \sqrt[3]{x} - \log x \text{ とおくと } f'(x) = \frac{\sqrt[3]{x} - 3}{3x}$$

$x$	0	.	27	
$f'(x)$		-	0	+
$f(x)$		↘	極小	↗

また  $f(10^3) = 10 - \log 10^3 = \log \frac{e^{10}}{10^3}$

ここで  $2 < e < 3$  より  $2^{10} < e^{10}$

ゆえに  $1 < \frac{2^{10}}{10^3} < \frac{e^{10}}{10^3}$  したがって  $f(10^3) > 0$

増減表より  $27 < 10^3$  から

$x > 10^3$  のとき  $f(x) > 0$

ゆえに  $n \geq 10^3$  なる  $n$  について  $\log n < \sqrt[3]{n}$

よって  $\frac{\log n}{\sqrt{n}} < \frac{\sqrt[3]{n}}{\sqrt{n}}$

これより  $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{\log n}{\sqrt{n}} = 0$

したがって  $\sqrt[n]{n} \gg \log n$

(2)  $\sqrt[n]{n} \gg \log n$  について ( $a > 1, a$  は整数)

(1)と同様に

$$g(x) = a^{+\sqrt{x}} - \log x \text{ とおくと}$$

$$g'(x) = \frac{a^{+\sqrt{x}} - (a+1)}{(a+1)x}$$

$x$	0		$(a+1)^{a+1}$	
$g'(x)$		-	0	+
$g(x)$		↘	極小	↗

ここで④  $a^n \gg n^\beta$  より ( $\beta > 1$ , 整数)

$2^n \gg n^\beta$  が成立し、1の $2^\circ$ より、ある番号  $N$  が存在し、 $n \geq N$  を満たす  $n$  について

$2^n > n^\beta$  となる。

ゆえに  $1 < \frac{2^n}{n^\beta} < \frac{e^n}{n^\beta}$  ここで  $\beta = a+1$

とおきなおすと  $\frac{e^n}{n^{a+1}} > 1$

よって、十分大きな  $p$  が存在して  $g(p^{a+1}) > 0$

すなわち  $g(p^{a+1}) = p - \log p^{a+1}$

$$= \log \frac{e^p}{p^{a+1}} > 0$$

とすることができる。

したがって、増減表より  $p^{a+1} > (a+1)^{a+1}$  から

$x > p^{a+1}$  において  $g(x) > 0$

ゆえに  $M > p^{a+1}$  なる自然数  $M$  が存在し  $n \geq M$  に

において  $a+1\sqrt[n]{n} - \log n > 0$

よって  $a+1\sqrt[n]{n} > \log n$

ゆえに  $\frac{\log n}{\sqrt[n]{n}} < \frac{a+1\sqrt[n]{n}}{\sqrt[n]{n}}$

よって  $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{\log n}{\sqrt[n]{n}} = 0$  したがって  $\log n \ll \sqrt[n]{n}$

だが、整数という条件は容易にはずすことができ

$$\log n \ll n^{\frac{1}{a}} \ll n \ll n^{\beta} \ll a^n \ll n!$$

(ただし  $a > 1, \beta > 1$ )

が成り立つ。

(静岡県立 磐田南高校)

## 6. おわりに

5の実例において  $a, \beta$  は1より大きな整数とし

